

第41回全国障害者技能競技大会

<102> 家具 競技課題A

次の注意事項及び仕様に従って、支給材料及び「使用工具等一覧表」に掲げるものを使用して、図面に示す課題を製作しなさい。

1 競技時間

標準時間 5時間30分 打ち切り時間 6時間

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法及び数量等が「4 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、競技開始前に競技委員に申し出ること。
- (3) 競技開始後の支給材料の再支給は認めるが、この場合は、減点の対象になる。
- (4) 使用工具及び使用機械は、使用工具等一覧表に示すものに限る（使用工具等一覧表に示していない墨付け用の型板や位置決め用の定規などは、競技に使用できない）。
- (5) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (6) 作業においては、家具製作作業に適した作業服、作業靴及び作業帽を着用すること。特に、そで口、すそ及び髪の毛等が機械に巻き込まれないよう注意すること。
- (7) 卓上ボール盤、角のみ盤及び電動ドリル使用時は、必ず保護眼鏡（防じん用）を着用すること。
- (8) 卓上ボール盤及び角のみ盤を使用する作業については、競技委員の指示に従うこと。
- (9) ほぞ穴加工には、角のみ盤を使用しても良い。
- (10) ほぞの加工は、手加工に限る。
- (11) 前脚のほぞ穴加工に角のみ盤を使用する場合は、治具を使用して加工を行うこと。なお、角のみ盤使用時の治具は、各自で持参すること。
- (12) 競技時間内に完成させるため、選手は時間の管理を行うこと。
- (13) 脚部側面の組み立て及び接着については、昼食休憩を接着硬化時間として活用することを推奨する。
- (14) 埋め木等は、行わないこと。
- (15) 作業が終了したら、競技委員に申し出て、製品と現寸図を一緒に提出すること。
- (16) 競技中は、競技課題以外の用紙にメモをしたものや参考書等を参照することは禁止とする。
- (17) 競技中は、スマートフォン等の通信機器(電卓機能の使用を含む)の使用を禁止とする。

3 仕様

- (1) 競技課題の製作は、現寸図（脚部側面図）を描いた後にとりかかること。
- (2) 甲板①と甲板②の接合は、5枚組み接ぎ（上端留め）とする。
- (3) 前後の脚と幕板の接合は、小根付きほぞ接ぎとする。
- (4) 前後の脚と貫の接合は、二方胴付きとする。
- (5) 左右の脚と幕板の接合は、前後とも、だぼ接合（φ10mm）とする。
- (6) 脚貫とつなぎ貫の接合は、片胴付きほぞとする。
- (7) 甲板と脚部の取り付けは、木ねじ締めとする（木ねじの下穴加工には、卓上ボール盤または電動ドリルを使用する）。
- (8) 甲板①と甲板②、及び前後脚と幕板(側)、前後脚と脚貫については、仮組み調整が完了後、検査を受けて、組み立て・接着に着手すること。
- (9) 仕上げは、かんな仕上げとし、サンドペーパーを用いてはならない。
- (10) 各部材は、図面に示した面をとること。ただし、それ以外の箇所は糸面とすること。
- (11) 脚については、脚先の面を取らないこと。
- (12) 組み立てには、支給材料の接着剤を用いること。

4 支給材料

No	品名	寸法 (mm)			数量	備考
		長さ	幅	厚さ		
1	甲板 ①	610	301	20.5	1	ラワン材又はこれに準ずるもの
2	甲板 ②	120	301	20.5	1	〃
3	前脚	500	46	28.5	2	〃、テープに加工済
4	後脚	490	45.5	28.5	2	ラワン材又はこれに準ずるもの
5	幕板 (側)	200	45.5	22.5	2	〃
6	幕板 (前)	460	46.5	22.5	1	〃
7	幕板 (後)	460	45.5	22.5	1	〃
8	脚貫	250	30.5	22.5	2	〃
9	つなぎ貫	500	45.5	20.5	1	〃
10	現寸図作図板	600	300	4	1	シナ合板
11	木ねじ	45	呼び径 4.5		8	プラス [十字穴付き皿木ねじ]
12	接着剤				若干	酢酸ビニル樹脂エマルジョン

使用工具等一覧表

1. 競技者が持参するもの

No	品名	規格・寸法(mm)	数量	備考	No	品名	規格・寸法(mm)	数量	備考
1	両刃のこぎり	240~270 程度	1	替え刃式も可	22	長さおけびき	500 程度	1	
2	胴付のこぎり	210~240 程度	1	同上	23	きり	三つ目、四つ目	適宜	
3	ほぞびきのこぎり	210~240 程度	1	相当品も可	24	玄のう	中	1	かなづちも可
4	平 (手) かんな	65 程度	各 1	中・仕上げ	25	端金	600、750 程度	各 4	F クランプも可
5	小かんな	30 程度	1		26	平行クランプ	150~200 程度	2 組	F クランプも可
6	きわかんな	36 程度	1		27	ドリル刃	だぼ穴用	適宜	だぼ径に対応
7	長台かんな	65 程度	1		28	ドリル刃	木ねじ下穴用	適宜	座ぐりドリルも可
8	追 (大) 入れのみ	9~36 程度	適宜		29	ドライバー	プラス: 呼び径 4.5 用	1	電動も可
9	向待ちのみ	9	適宜		30	木だぼ	φ 10mm	適宜	
10	突きのみ (薄のみ)	6~24 程度	1		31	角のみ盤用治具		適宜	前脚のほぞ穴加工に使用
11	かき出しのみ		1	もりのみも可	32	鉛筆・消しゴム		適宜	墨付け用
12	ものさし	1000~600 程度	1	コンバックス スケールも可	33	座布団、毛布、敷物 等	作業姿勢の調整に適した もの	適宜	支給材料の養生 にも使用
13	さしがね	450~500 程度	1	大矩も可	34	のりべら		適宜	グラブも可
14	ノギス	200・1/20 程度	1		35	打ちあて、当て木		適宜	
15	直角定規 (スコヤ)	200 程度	1		36	といし	荒・中・仕上げ	各 1	
16	自由定規	200 程度	1		37	油つぼ		1	
17	挽き当て定規	直線胴付きびき 用、留用	各 1		38	作業服、作業帽、作 業靴	作業に適したもの	一式	
18	留定規	150~200 程度	1		39	保護眼鏡 (防じん 用)		1	機械加工時使用
19	白書き		1		40	直角木口台	300×300 程度	適宜	
20	筋けびき		1		41	飲料		適宜	熱中症対策
21	ほぞ (のみ) けびき		1						

- ※注 1 使用工具等は、上記のものに限るが、同種のものについては、予備工具を持参してもよい（但し、同種のは3個以内とする）。
- 2 一覧表に記載されていても、競技者が必要ないと判断した工具については、持参しなくてもよい。
- 3 競技課題専用に位置決めされたけびき及び加工された治具、工具の使用は不可とする。
- 4 木口台については、部材の大きさに合わせて加工したものは不可とする。
- 5 飲料については、各自、競技会場の状況や天候等を考慮の上、持参すること。
- 6 のこ、かんな及びのみについては、替え刃式のものも可とする。
- 7 穴あけ及びビス留めのために、充電式電動ドリル・ドライバーを持参し、これを使用してよい。

2. 競技場に準備してあるもの

No	品名	規格・寸法 (mm)	数量
1	立式作業台	1800×900×800 程度	競技者1名につき1台
2	座式作業台	1200×300×100 程度	〃 1台
3	摺り台	1000×100×30 程度	〃 1個
4	のこびき台	330×180 程度、2個組	〃 1組
5	角のみ盤	9.5mm箱のみ付き	1台（脚、貫のほぞ穴加工用）
6	電動ドリル	ドリル刃(木ねじ下穴あけ用)	1台（チャック径6.5mm）
7	卓上ボール盤	ドリル刃φ10.0mm	2台（チャック径13mm）
8	機械側置	600×400×700 程度	3台
9	マグネットベース	吸着力60kg程度 角型	2個（卓上ボール盤の当止用）
10	隙間ゲージ	0.03mm～1.00mm	全体で1組
11	手元照明	27W程度 立式作業台取付け式	競技者1名につき1個
12	コンセント	AC100V、2口	〃 1個（手元照明・電動工具用）
13	折りたたみ椅子		〃 1脚
14	刷毛	竹柄（大、小）	〃 2本(接着剤、ふき取り用)
15	バケツ	10リットル程度	〃 1個
16	プラスチック・パレット	リスコンテナ ST-28B相当品	2個（刃物研磨用）
17	草ほうき	柄短	競技者1名につき1本
18	ちりとり		〃 1個
19	ウエス	綿、1束2kg	〃 1枚
20	荒神簀		角のみ、卓上ボール盤につき1本
21	接着剤洗い用おけ	2～3ℓ用位	競技者1名につき1個
22	消毒液		角のみ、卓上ボール盤につき1本
23	ペーパータオル		角のみ、卓上ボール盤につき1束
24	ごみ箱		角のみ、卓上ボール盤につき1個（使用済みペーパータオル専用）

縮尺 : 1/2 1/10

単位 : mm

